

令和元年12月10日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題 稲 WCS 品質向上研修会を開催しました。

(ダイジェスト)

JA しまね出雲 WCS 協議会主催の稲 WCS 品質向上研修会が 12 月 6 日、畜産技術センターにおいて開催されました。研修会では、会員が栽培・収穫調整した稲 WCS の品質確認や、品質向上に向けた研修が行われました。

JA しまね出雲 WCS 協議会は耕種農家・畜産農家を構成員とした 2015 年に設立された協議会で、稲 WCS の安定供給や品質向上を目的とした活動を行っています。毎年、品質向上を目的とした研修会を実施しており、本年も 12 月 6 日畜産技術センターにおいて、約 30 名の参加のもと研修会が開催されました。

研修会では、本年産の稲 WCS ロールを開封して、サイレージ発酵状況を参加者各自で確認したほか、今年は初めての取り組みとして、その WCS を実際牛に給与し、嗜好性も確認しました。

次いで普及部から、畜産技術センターの協力を得て事前に WCS を分析した結果を報告しました。その結果、本年本格的に栽培を開始した、晩生品種「つきすずか」が良質な発酵をしていることなどが報告されました。さらに、普及部から品質向上のポイントや、効率的な収穫機械紹介など行いました。

JA しまね出雲 WCS 協議会の栽培面積は毎年 100ha 前後で、島根県でも一番の面積ですが、まだ畜産農家の要望に応えられていない状況です。協議会では、畜産農家の要望になるべく応えられるよう、単収の UP と、雑草混入防止や、適期収穫に向けた活動を行っていくこととしています。

普及部としても、適期刈り取り時期の見極めや、サンプリングによる水分測定など稲作担当と畜産担当がサポートを行い、稲 WCS の安定供給に向けて活動していくこととしています。



出来を確認する参加者



牛の嗜好性を確認



WCS 分析結果の報告